学校番号	T1202

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	楽しい筆文字	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	プリント・芳南実用書						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・手本を元に、基本の書を反復練習していくので、書道未経験者も選択可能です。また、自分の好きな漢字を行書・草書でのびのびと自由に書くことも行います。書跡の形や書のデザインを楽しみましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・書道の幅広い活動を通し、書に少しでも興味が持てるような心情を育て、書写能力を高める。
【思考力、判断力、表現力等】
・書のよさや美しさに少しでも興味が持てるような心情を育て、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、日常生活で使っている漢字で、毛筆を使ってのびのびと書き、自分の感性を書で表現できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に書を愛好する心情を育むとともに、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばしつつ、書を通して豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現方法や形式などについて、自身の感性を書で表現する活動を通じながら幅広く理解するとともに、基礎的な技能を身につけている。	書のよさや美しさに少しでも興味が持てるような心情を育て、日常生活で使っている漢字などを題材として、意図に基づいて表現を工夫する力を養っている。	主体的に書を愛好する心情を育むとともに、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばしつつ、書を通して豊かな生活や社会を創造していく態度や創造性の基礎を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間	書の道具について	・用具と用材の取り扱いや、鑑賞の仕方など書道をする前に必要な基本的なことを指導する。	a:用具・用材の取り扱いや鑑賞の方法について理解している。 b:目的や用途に即した用具・用材の取り扱いについて工夫している。 c:主体的に鑑賞の方法についての学習活動に取り組もうとしている。	実習 課題	実習 課題	授業内 観察
	書の基本	・孟法師碑の手本をもとに、書写し、添削されたところを繰り返し練習する。 ・行書・草書に親しむ。	a:孟法師碑の線質、字形、構成等と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 b:孟法師碑の価値について考え、行書、草書のよさや美しさを味わってとらえている。 c:主体的に表現効果や風趣についての学習活動に取り組もうとしている。	実習 課題	実習 課題	授業内 観察 添削への振り返り
後期期末	大筆で墨跡を楽しむ	・自分の好きな漢字を選び形にとらわれず自由に書を楽しむ。 ・墨と半紙のにじみ・かすれを利用し、作品を仕上げる。	a:漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b:目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	実習 課題	実習 課題	授業内 観察
	小筆を楽しむ	・年賀状の裏書の練習をする。思いのまま文字を書き、文字の形を年賀状の寸法に合わせてのびのびと書く練習をする。作品をパソコンに取り込み印刷する。 ・葉書の表書きの練習をする。	a:年賀状の寸法に即した字形、表現形式について理解している。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に年賀状に関する表現活動に取り組もうとしている。	実習 課題	実習 課題	授業内 観察

	手紙に挑戦	・芳南実用書を手本に社会生活に必要な基本的な実用漢字を練習する。 ・手紙の表書の練習を実際に手紙を使用して書いてみる。	a:基本的常用漢字の書体、書体の変遷等について理解している。 b:生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わってとらえている。 c:主体的に手紙の表書について、書のよさや美しさを味わって捉えようとしている。	実習課題	実習課題	授業内観察 添削への振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度